The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	WWWの構築と運用
Author(s)	江澤, 義典
Citation	大阪大学大型計算機センターニュース. 1996, 99, p. 1-1
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/66133
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

巻頭言

ＷＷＷの構築と運用

関西大学総合情報学部教授　　江澤 義典

ＷＷＷ（World Wide Web）という言葉はインターネットの急速な発展と共に、情報発信のキーワードとなってきました。今年は「Internet 1996 World Expositon」が開催されていますし、大学などの学術利用だけでなく、官庁・企業がこぞって各種の情報発信を始めています。とくに、ＨＴＭＬ（Hyper Text Mark−up Language）の簡単な規則を習得するだけで誰でも自由に各自のホームページなどを作成できる為に、各サイトのＷＷＷ運用管理の指標とかホームページ構築のガイドラインを模索している方々が多数おられると思います。実際、学生がコンピュータ演習で作成する個人用のホームページであれば、自分の趣味などを紹介するケースが多いのでしょうが、大学とか高専・研究所・行政機関などで独自のホームページを設計する場合には、情報公開の方針を確立し提供する情報の鮮度を保つための工夫が必要になるでしょう。いわゆる「賞味期限」を過ぎた情報ほど興覚めなものは有りませんから。

素晴らしい有用な情報を多くの人達に提供するために、どの様な工夫が必要になるのかということは、世界中のＷＷＷ構築者・運用者の関心事でしょう。国内の大学におけるＷＷＷにおいても、教員の研究成果から始まり、講義のシラバス、私学では入学試験の志願者情報や合格者の発表までインターネットで公開しているサイトもあります。インターネット先進国であるＵＳＡのコロンビア大学（Columbia University's Teachers College）では、実際に４８９校のホームページを検討し、その「出来具合い」に関する実戦的な調査研究を行っています。その結果が、「Good and Poor Higher Education Sites」としてＷＷＷで公開されています（各大学のホームページを分類別に評価し、上位と下位各１校が公表されている）。（参考；http://www.ilt.columbia.edu/academic/classes/TU5020/projects/he/b&w_sites.html）

また、ＭＩＴのあるページでは「Best examples of school homepage」のアンケートが実施されておりその結果が公表されていますが（９６年２月現在で２４５０校から上位14校が公表されている）、そこに日本のサイトが全く含まれていないのは非常に残念な事だと思います。（参考；http://web.mit.edu/cdemello/www/results.html）

本センターニュースは「ＷＷＷの構築と運用」を特集しています。ＷＷＷはインターネットの応用事例として、最も注目を浴びています。教育広報委員会では、関西地域の学術ネットワークであるＯＲＩＯＮＳ加盟組織の中でユニークなＷＷＷを構築されているサイトを紹介して頂く事にしました。そして、まず大阪地域大学間ネットワーク（ＯＲＩＯＮＳ）の組織情報管理について徳島大学の大家先生にネットワーク情報管理の現状を解説して頂きました。また、いちはやくＷＷＷを構築し運用されている大阪府立大学・近畿大学・国立奈良工業高等専門学校・和歌山県庁および１００校プロジェクトに参加されている大阪市立聾学校での事例を、実際に運用を担当されている方々に紹介して頂きました。公立大学とか私立大学・高等専門学校・地方自治体および公立学校といった様々な立場でＷＷＷを構築運用されている方々の「ノウハウ」が率直に披瀝されていますので、これからＷＷＷの構築を検討しようとされている方々だけでなく、日常的にＷＷＷの運用管理に携わっておられる方々にも有用な情報がたくさん含まれていると思います。

本特集号を企画するにあたり、教育広報委員会の第２小委員会委員の方々、教育広報委員長の井口先生、大型計算機センターの下條先生ならびに大型計算機センター職員の皆様には大変お世話になりました。厚く御礼申し上げます。